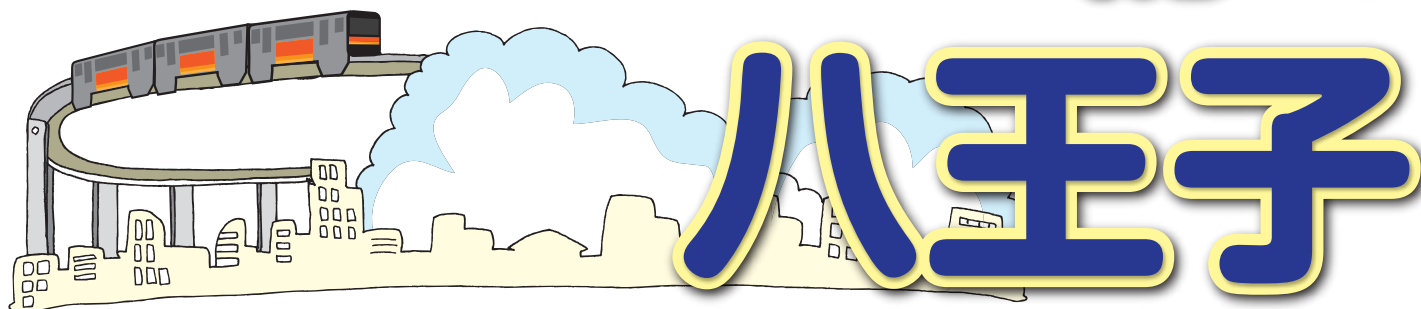




モノレールで紡ぐ



多摩都市モノレール
八王子ルートの実現に向けて

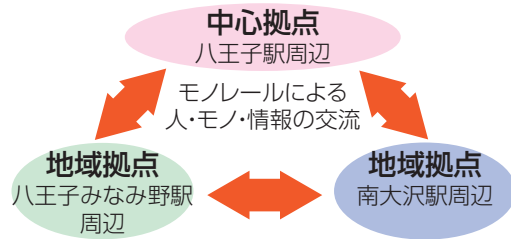
⊗ 八王子市（中核市）



八王子ルートが実現すると

1 地域の連携により、ますます発展する八王子へ

南大沢駅や八王子みなみ野駅周辺の地域拠点と、八王子駅周辺の中心拠点を結ぶ公共交通機関として、人・モノ・情報の交流を活発化し地域間連携を図ることにより、持続して発展する八王子へ。



2 働く場所を増やし、もっと豊かな八王子へ

多摩都市モノレール八王子ルートが計画されている多摩ニュータウン、八王子ニュータウン内には、多くの業務用用地があり、現在も新たな企業などの進出も見られています。企業の持続的な活動の支援や未利用地への新たな企業等の誘致を図るためにも、交通基盤の充実が重要です。

多摩ニュータウン地区

- > 南大沢駅周辺に多くの業務系施設が立地
- > 10ha以上の業務用地が今後利用可能

八王子ニュータウン地区

- > 地区全体で多くの業務系施設が立地
- > 10ha以上の業務用地が今後利用可能

3 高齢者をはじめとした市民の利便性が向上

新たな移動手段が生まれ、日々の生活において市民のみなさんの利便性が向上するとともに、子育て世代や高齢者の外出を促すきっかけになるなどの効果が見込まれます。

4 学生も便利に

多摩都市モノレール八王子ルート沿線には多くの大学や専門学校などがあります。

大学等へのアクセス向上は、教育・研究機能のさらなる充実や優秀な人材の確保、都心回帰の傾向が見られている大学等の地域へのつなぎとめにも資することになります。

沿線の大学等

- > 首都大学東京
- > 多摩美術大学
- > 東京造形大学
- > 大妻女子大学
- > 東京工科大学
- > 日本工学院
- > 山野美容短期大学
- > 日本文化大学
- > 都立片倉高校





交通政策審議会の答申に位置づけられました

「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について(答申)」における位置づけ

国土交通大臣が交通政策審議会に対して諮問した、「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」の答申が、平成28年4月20日に公表されました。この答申の中で、「地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト」のひとつとして、多摩都市モノレール八王子ルートが位置付けられ、八王子ルートの意義が、「多摩地域の主要地区間のアクセス利便性の向上を期待」と述べられています。

多摩都市モノレールの延伸の意義

(多摩センター～八王子)

多摩地域の主要地区間のアクセス利便性の向上を期待。



出典：国土交通省HP
平成28年4月20日 交通政策審議会
「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について(答申)」を一部加工



多摩都市モノレール八王子ルート整備促進協議会

八王子ルートの整備を促進するために協議会を組織しています。

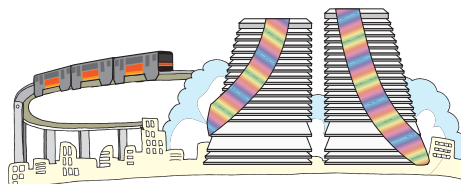
協議会 委員
八王子市長
八王子商工会議所会頭
大学コンソーシアム八王子会長
八王子市町会自治会連合会会長
八王子市商店会連合会会長
公益社団法人八王子観光協会会長



整備促進を多くの方に理解・応援していただくために

八王子ルート実現に向けて啓発グッズの配布、シンポジウムなどさまざまな活動を実施しています。





百年の彩りを
次の100年の輝きへ

 お問い合わせ

多摩都市モノレール八王子ルート整備促進協議会事務局
八王子市都市計画部交通企画課

〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号
TEL : 042-620-7303(直通) / FAX : 042-627-5915
E-Mail : b490400@city.hachioji.tokyo.jp